



風 来た 風

JCA千歳船橋
創立40周年記念誌



JCA千歳船橋創立40周年を迎えて

2023年度 JCA千歳船橋運営委員代表 前田 紘利

1983年9月に設立されたJCA千歳船橋は今年で40周年を迎えました。これを機に記念誌を作成することとなり、先輩方が作成された「創立20周年記念会報」と「創立30周年記念会報」を参考に、これまでの10年間の主要な出来事を、各年度の代表の方に整理していただきました。これらのボランティア活動から生まれた成果は正に“継続は力なり”を象徴するものと思います。

この10年を振り返ると、東日本大震災・コロナ禍・離反クラス問題等、JCA千歳船橋の根幹を揺るがすような状況に遭遇しましたが、教室を閉めることなく進んできました。これ迄JCA千歳船橋を陰に陽に支えてくれた方達の努力の結果であると同時に、新しく入って来た方達のエネルギーや発想との組み合わせで、さらに洗練され、維持され、発展してきたと思っています。

JCA千歳船橋は単なる日本語の語学学校ではなく、色々な国から来られた学習者さんとの交流を通じてお互いの文化や生活への理解を深めるような日々の学習の場です。この考え方は私たちにとっても重要な基盤となっています。10～20数組あるクラスの会員・学習者の皆さんを支援している曜日委員をはじめとするクラスの世話役の方達が、JCA千歳船橋推進の原動力となっています。そしてクラスの基盤となる“教室の場”の確保にご協力頂いている世田谷ボランティアセンター、北沢ボランティアビューロー他、関係する諸団体の皆様に、この紙面を借りて厚く御礼申し上げます。

ご挨拶	3
JCAの足跡（主な活動記録）	4
各クラス紹介	8
JCA千歳船橋 DATA BOX	20
世界の言葉で「こんにちは」	22
編集後記	23

「風また風」ってどんな風？

広報誌「風また風」は、1992年5月に第1号が発行されました。発足当初のJCAの学習者はアジアの国々、韓国・中国・タイ・マレーシア等からの駐在員とその家族、および少数の留学生が殆どでした。90年に入って欧米の国々からの学習者も増え始め、外国人の「日本語を学ぶ」という目的も、「生活に必要なだから、日常会話を学びたい」から、もう少し踏み込んだ、「日本への興味、知識を高めたい」等へと広がって来ました。定例のミーティングでは色々な国の面白い場面も紹介され、世界の様々な国からの風が吹き始めました。そんな時間の中にいた事が私の内なる風を起こしたということでしょうか。

こんな楽しい風景をそのまま見過ごしてしまうのは惜しい、なんとか書き留めたい、そんな思いに駆られ、ミーティングで提案。反

応は色々でしたが、風はボランティア(センターも含めた)の周りにも吹き始めたのです。

「風また風」Vol.1では、1992年4月、朝日新聞夕刊の世田谷ボランティアセンター紹介の、国際交流に関する記事に対して、100件を超す問い合わせがあり、その対応に大わらわの様子を会員の皆さんに伝えていきます。しかし、その4月の時点ではまだJCAには広報誌はありませんでしたが、活動規模拡大の流れの中で、個人紙的発想から全体の広報誌へと発展していく事になったと記憶しています。ここに改めてその発行の経緯を書いてみると、ただこれだけのことですが、風が吹いて、背中を押して、又風が吹いて、それが新鮮であったことが、更なる風に繋がって行ったと思います。

(JCA会報第32号1998年5月
佐々木和子氏の寄稿より抜粋)

2013-2016年

この10年のできごと

2013年度
(31期)

2013年12月
創立30周年記念行事と30周年記念会報の発行

「おしゃべり広場」に創設者の水野(トッテン)知子氏を招待した。

(中園公二)

2014年度
(32期)

2015年2月
JCAホームページ立ち上げ(2/1運用開始)

2015年3月
JCA玉川との姉妹関係の解消とチラシ類の共用終了

JCA玉川が運営体制を大幅変更した事で、JCA千歳船橋との姉妹関係継続が困難になったとして関係解消の申し入れがあり、姉妹関係を解消した。それに伴い、「学習支援ボランティア」「教室案内」などのチラシの共用を終了することとしたが、体制が整うまで当面検討課題とした。

2015年4月
会の名称を、JCA(Japan Culture Association)から
「JCA千歳船橋」に改称

(平野又三)

2015年度
(33期)

2015年4月
JCA千歳船橋の団体として初めて銀行口座を開設

2015年5月
東京日本語ボランティアネットワーク(TNVN)に再加盟

(影山善子)

2016年度
(34期)

次年度から運営委員を4名から3名体制に変更し、
本部会計は各クラスの持ち回りとした

(宮本弓子)

過去10年間の代表・副代表

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018
代表	井上宏一	平野又三	志水功夫	山岡大介	山岡大介	宇野公容
副代表	中園公二	志水功夫	近藤房夫	宮本弓子	宇野公容	上野一海

年度	2019	2020	2021	2022	2023
代表	上野一海	浴田康弘	須藤正嗣	南 徹	前田紘利
副代表	南 徹				渡辺洋一

1983-2012年

発足から30年の主なできごと



1983年9月・JCA設立

1992年7月・JCA通信「風また風」1号を発行

1993年1月・世田谷区社会福祉協議会より活動に対し表彰される

1993年2月・テレビ東京「風は世田谷」にてJCAが紹介される

1994年4月・東京日本語ボランティアネットワークに加入

1996年10月・世田谷区社会福祉協議会より活動に対し表彰される
・東京日本語ボランティアネットワーク脱退

2003年4月・JCA総会でJCA千歳船橋とJCA玉川に組織を分割
12月・創立20周年記念会報を発行

2007年・東京都外国人支援団体に入会

2011年・東日本大震災の影響で教室施設の使用が不可になり、
代替施設を使用

2012年・世田谷区の協力を得て、
学習者の関心が高まっていた防災教育を実施
・東京都・世田谷区作成の防災関係資料、
小冊子などを学習者に配布

2020-2023年

2020年度
(38期)

感染防止のためWEB授業を本格導入

緊急事態宣言下における全教室閉鎖の中で新年度が開始された。5月からWEBを利用して一部の教室が再開したが、全面再開できたのは9月となった。しかし11月には第2波の感染が拡大し、感染防止策に全力で取り組んだ。



2020年4月 HPのメンテナンスを外注化

前年度までHPはIT技術を持つ特定会員の協力でメンテナンスしてきたが、継続的な安定運営が必要ことから、外注業者を選定し担当運営委員の元で管理運営するよう改めた。



JCA千歳船橋のHP
2023年11月現在

2020年10月 主要活動に対する意識調査を実施

「おしゃべり広場」、「機関紙(風また風)の発行」、「日本語教え方教室」の主要活動について、会員・学習者の意識調査を行い、今後の活動方針の指針とした。

(浴田康弘)

2021年度
(39期)

水曜夜クラスの閉鎖

2019年度に決定した運営委員選出基準に対し、水曜夜クラスから異議申し立てが有り、今後もこの選出基準に従わざるを得ないのであれば、水曜夜クラスとしてはJCA千歳船橋の一員として共に行動をすることが出来ないと「脱会宣言」があった。これにより会員全員(学習者とも)がクラスを退会した。その後、当該地域では安定した教室の確保が難しいことから、やむなく水曜夜クラスを閉鎖することになった。

(渡辺洋一)

2022年度
(40期)

2022年8月~11月 代田・梅丘ボランティアビューローの統合問題

世田谷ボランティア協会より2022年8月に、代田ボランティアビューローを梅丘ボランティアビューローに統合する計画が通知され、この結果JCAの月曜、木曜昼、木曜夜の3教室の移転が必要となった。特に木曜夜教室は、梅丘VBの夜間利用禁止との方針により新立地を求められたが、木曜夜教室については存続にかかわる大問題であり、また月曜教室と木曜夜教室についてもそれまでの梅丘VB利用団体の既得権によって、従来通りの日程やスペース確保が困難という問題が生じた。当該教室と運営委員会とが一体となって全力を挙げて対応した結果、木曜夜に関しては協会・JCA両組織の代表者名による覚書を交わして夜間利用の承認を得て、3教室ともにほぼ従来同様の条件で梅ヶ丘ボランティアビューローに移転し、12月から円滑に活動を再開することができた。

(南 徹)

2023年度
(41期)

コロナ禍の収束傾向によりクラスイベントが復活

新型コロナウイルス感染症が、2023年5月8日よりインフルエンザと同じ「5類」と位置付けられた。それにより、緊急事態宣言下で中止されていたクラス行事が基本的には実施可能となり、他ボランティア団体との交流、七夕イベントなど、クラスごとの活動が復活した。

2023年12月 創立40周年記念誌「風また風」の発行

(前田毓利)

2017-2019年

2017年度
(35期)

2018年1月 「平成29年度 東京都共助社会づくりを進めるための 社会貢献大賞」の特別賞を受賞

平成28年度から始まった表彰制度。対象は企業部門、教育機関部門、その他の民間団体部門の3部門からなり、大賞は7団体、特別賞は5団体が受賞した。この内JCAは千歳船橋グループ・玉川グループとして民間団体部門で特別賞を受賞した。受賞のきっかけは、社会福祉法人 世田谷ボランティア協会の推薦によるもの。受賞理由としては、①33年にわたって世田谷区内14教室で外国人への日本語教室を運営 ②語学教室のほか、相談対応・防災教室を実施 ③「日本語教え方教室」によりボランティアのスキル向上にも取り組む活動などが評価されたものである。



(宇野公容)

2018年度
(36期)

HP(ホームページ)の活用推進

長年、JCAの窓口として活躍した電話案内係からの辞退申請に伴い、学習希望者がHPから各教室に直接応募できるシステムを構築したことで電話案内の専用窓口を廃止した。また、曜日委員が自ら入力操作することで、HP上から待機学習者の動向が確認できるよう、クラス別ウエイティングリストとリンクさせて活用性を高めた。

(上野一海)

2019年度
(37期)

運営委員選出方法の見直し

毎年、運営委員の選出が難しくなってきたことから、解決すべく対策を検討した結果、候補者の選出方法を「各教室からの立候補方式」から「各教室の持ち回り方式」に変更することを決定した。これに伴い本部会計を含め4名体制に戻した。

HP運用の見直し

HP担当の退会により、「学習者と会員の入会に特化」して運用することとし、メンテナンスは特定会員の協力による体制とした。

新型コロナウイルスの感染防止対応策を実施

2月26日、世田谷区からの要請に対応して、JCA千歳船橋全教室を3月31日まで一時休講とした。緊急事態宣言が5月31日まで延期されたため、第38期の総会は、5月にずれ込み初の「E-mail」を活用した総会となった。

(上野一海)

1990~
2019年

おしゃべり広場

1990年~2019年まで、毎年の全体行事として開催された。学習者による日本語スピーチ、ゲームなどのミニイベントを交えて、学習者・会員ともに曜日クラスを超えた交流をはかった。





リラックスとした雰囲気の中、真剣に、楽しく日本語を学んでいます。



レッスン中にバチリ!
日本語での会話も弾みます。



グループに分かれて七夕飾りに挑戦! 笑顔があふれました。



こんなクラスです!

- Q** 学習者の国籍は?
A アフガニスタン、アメリカ、オーストラリア、中国、インド、イラン、イギリス、ロシア、メキシコ、ペルー、タイ
- Q** どんなクラス?
A 幅広い年代の学習者さん、初級者から「奥の細道」を解する人まで、みなさんとても熱心です。会員もそれに応えたいという気持ちで、学習者ファーストを大切にしています。
- Q** クラスの雰囲気は?
A リラックスして和気あいあい。あちこちでおしゃべりの花が咲いています。学校がお休みのお子さんとご一緒に教室へいらした方や来日されたお母さまを連れていらした方も。学習者さんが、自分が学んでいる場所を見せたい! と思ってくださったのが、とても嬉しかったです。

Monday Class

月曜日 クラス

DATA

場所：北沢ボランティアビューロー
時間：毎週月曜日 10:00～11:30
会員数：23名
学習者：20名 (11カ国)

会員の声

「JCA 活動に参加して」
中園公二

2013年に30周年に携わった者としてこの10年はアツという間に過ぎ、あまりにいろいろな事が起きたような気がします。その中で忘れられない学習者がF・Tさんでした。当時月曜日教室の最古参学習者となっていました。ユニークな発想での学習で楽しい時間でした。現在はご夫婦でドイツ在住です。

私が学習上でまずは心に決めているのは学習者の皆さんが日本に来て良かったと思ってもらえることです。JCAでの多くの出会いに感謝し、これからもそんな学習者を一人でも増やしたいと思っています。

学習者の声

「私と月曜クラス」

孫 麗黎

私は中国人です。
ボランティアの先生達は皆親切

で熱心です。

私が生活の中で何か問題に遭遇した時、先生達はいつも家族のように答え、解決策を見つけられるよう最善を尽くしてくれます。

コロナ禍の3年間、教室の人数制限のため、時間帯をずらして授業をしました。そのため、昼食を遅くしてでも先生達は授業をしてくれました。

特別なお祭りの日には、皆が喜ぶイベントを催したり、日本の美味しい物を味わいました。とても楽しかった思い出です。

授業で私の日本語能力が向上するうえに、素晴らしい先生達と知り合うことができ、さらに幸せです。

● JCAの先生たちはとてもやさしいです。

● 先生と毎週一緒に勉強するのが楽しいです。

● だんだん日常会話ができるようになりました。

● JCAの皆さんに出会えて嬉しいです。

● 安心して日本語や文化を学べるので、感謝しています。

● とても役に立っています。



我很喜欢我的老师!
美宇老师也是我的好朋友!
私は先生が大好きです。
美宇先生は私の先生であり友人です。

シャーロットさん(台湾)

EL EVENTO DE
TANABATA KAZARI
¡ME HIZO MUY
FELIZ!

七夕飾りのイベントは
楽しかったです!
グスタボさん(スペイン)

විවිධ රටවලින් පැමිණි අන්තර්ජාතික
සිසුන් හමුවීම ඉතාම සතුටුදායකයි.

さまざまな国から来ているクラスメイトに
会えることがとても嬉しいです!
テウニさん(スリランカ)

母国語でメッセージ!



Japanisch macht
Spaß!

日本語を学ぶことは楽しいです!
カリニアさん(ドイツ)

Me ayuda a aprender
acerca de la cultura Japonesa

日本語を勉強することは、
日本の文化を学ぶことに役立ちます。
セーサーさん(ベネズエラ)

Наснаждаюсь
атмосферой!

雰囲気を楽しんでいます!
ジガさん(ロシア)

मेरी जापानी भाषा मा केहि सुधार
भाङ्गो छ म चेरै खुसी छु
जापानी भाषा सिक्न पाउदा

先生に助けられて、私の日本語は少しずつ
上達しています。本当に嬉しいです。ありがとう!
サブコタさん(ネパール)

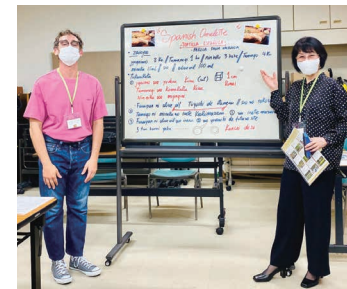


Tuesday Class

火曜日
クラス

DATA

場所：世田谷ボランティアセンター
時間：毎週火曜日 10:00～11:30
会員数：22名
学習者：20名(10カ国)



学習者の母国について紹介する
スピーチイベント。
会員と相談しながら作り上げます。



ひな祭りや七夕など、
季節に合わせた行事を楽しんでいます。



日本語を学ぶ目的もさまざまですが、
みんな楽しんでいます!

こんなクラスです!

学ぶひとに優しく、そして仲間にも優しく、日本語を学ぶこと以前にひとのこころを大切に、「やさしいほんこ」を実践しているクラスです。

いつも明るくにぎやかな教室で楽しいです。困っていることを話すと、「こうやってみたら」とか「こんな教材がありますよ」とか本当に丁寧に教えてくださいます。周りの皆さんに助けられています。ボランティア活動ができています。

とてもにぎやかで楽しいクラスです。

クラスイベントの日を設けて、いろいろと学習者が楽しめる企画を実施しています。担当以外の学習者と話す機会が多いです。

在籍期間はまだ短いですが、穏やかに手を差し伸べ合える雰囲気を感じています。

若い会員から高齢まで、幅広い年齢の会員が集まっているクラスです。高齢者や若い会員がうまくかみ合って、和やかな楽しいクラスで、クラスイベントも活発です。

火曜日クラスはイベントを数ヶ月に1回など行い、学習者同士の交流や情報共有などをして、コミュニケーションが割と取れているクラスです。また、会員同士もミーティングの際に意見を出し合っており、より火曜日クラスを良く変えていこうといった雰囲気です。皆とても積極的です。

学習者の声

「私と火曜クラス」

李リッ娟

日本人の主人と結婚して、2014年に中国から日本に来ました。小学校2年生の娘がいます。日本に来た頃は、N2を持っていました。日本人の話は分かりますが、正しく答えられません。特に敬語が使いなかつたので、今、思うと幼稚園の先生に敬語を使っていなかったことがとても失礼だったと思います。隣の親切な女性が来日してから助けてくれました。一番困ったのは、子供の幼稚園選びでした。面接のやり方や入園準備の事も教えてくれました。自分も苦労したので、誰かの手助けをしたと思います。

N1の勉強がしたかったので、2022年12月に火曜日クラスに入りました。

教室ではよく勉強出来ました。毎回宿題が出て、出来るだけ〇がもらえるように頑張りました。次の試験では、絶対に受かりたいです。このクラスを6月に卒業しましたが、また戻りたいです。

※リッ娟さんを担当した安藤と申します。彼女の真面目に勉強に取り組む様子

会員の声

「学習者との出会い」

門井孝之

私は2019年に入会しました。中央区の日本語ボランティア講習会がきっかけで数か月活動した後、自宅近辺の当会に入会しました。

この4年間に、約10人位の学習者を担当しましたが、すぐに退会してしまう人や何年も続く学習者がありました。やはり明確な目標をもって入る人は、学習意欲も高く長続きしますが、会話が少なければいいという程度の人、短期間で退会する傾向があります。特に意識の高い学習者と目標に向かって共に学ぶことは、私にも大きなやりがいと喜びになっています。今後多く多くの学習者との出会いを大切にしたいと思います。

Wednesday Class

水曜日 クラス

DATA

場所：世田谷ボランティアセンター

時間：毎週水曜日 10:00～11:30

会員数：20名

学習者：20名(10カ国)

こんなクラスです!

Q 学習者の国籍は?

A 中国5名・ベトナム3名・アメリカ3名・香港2名・台湾1名・ドイツ1名・スペイン1名・アイルランド1名・フィリピン1名・イギリス1名他

Q どんなクラス?

A 学習前はとっても静かですが、学習が始まるととても賑やかになります。数人の大きな声で喋る学習者さんに負けずと、自然と皆大声で、騒々しくなります。

Q クラスの雰囲気は?

A 初めはシャイな学習者さん達も2回目3回目には、手を振って笑顔で教室に入って来る様になります。

学習者の声

- 日本語はむずかしいけどおもしろい。
- 漢字がむずかしい、聞き取りがむずかしい。
- JCAの先生はとてもよいです。おりがみや七夕のイベントはすてき。
- JCAではともだちをつくる事ができ、うれしいです。
- 親切で熱心なボランティアの先生たちと楽しく受けています。どのレッスンもよく考えられて面白いです。レッスン中、先生は私の出来具合をチェックしてくれて、本当に素晴らしいです。ありがとうございます。感謝
- クラスで先生と話せてイベントで他の学生と交流できて、うれしい楽しいです。
- 日本にきてJCAからいろんなことを教えてくれて、本当にありがとうございます。
- 日本の文化とか、お寺とか、地震の防災とか、いろいろな体験をもらいました。

いろいろな活動を紹介します!

ご近所探訪レポート ～豪徳寺と松陰神社～

2022年10月19日
JCA水曜会クラス

9月28日に、遠足に行きました。初めは少し緊張していましたが、たまにはみんなでの空気を味わうのも良いものでした。さて、当日の出来事や感想をレポートします。お寺と神社の違いは?

お寺	神社
仏像、お墓	鳥居
外来(外から来た)	どこから来た?
仏道を修行し、仏事を行う	何をする場所?
①山門で一礼 ②手水舎で水で手や口をすすぎ、清める ③おみくじや御籤があれば御礼をして、運を清める ④本堂で一礼→お賽銭→鐘→合掌→一礼 ⑤山門を出る際も、本堂に向かって一礼	日本が起源(始まり) 神を祭り、祭祀や参拝 ①鳥居の前で一礼 ②参道は神様の通り道なので、踏を歩く ③手水舎で水で手や口をすすぎ、清める ④お賽銭→鐘→(一般的には)二礼二拍手一礼 ⑤鳥居の前で本堂に向かって一礼
おみくじ?? 自分の未来の運勢を予測する、日本の古い一種です。神社やお寺で買うことができ、100円～200円という低価格で体験することができます。	大吉(だいきち) The greatest luck 中吉(ちゆうきち) Middle luck 小吉(しょうきち) Little luck 凶(きまよう) Unluckiness 大吉(だいきち) Worst unluckiness
他にも、こんな物がありました お守り 神社やお寺で入手することができる開運アイテムです。安全を守ってくれる、運気を呼び寄せてくれる、お願いごとによって様々なお守りがあります。	絵馬(えま) 神社に願いごとを書き、運気を呼び寄せてくれる、お願いごとによって様々なお守りがあります。
お土産 昔から人気の和菓子として親しまれてきたどら焼き。ホットケーキのような生地であんこを挟んでいます。これは珍しい半月型です。中には、求肥も入っていました。	稲荷(いな) 稲荷に似たお餅を揚げたお菓子です。

お寺と神社の違いを学びました。

社会科見学レポート ～マヨテラス in 仙川～

2022年12月15日
JCA水曜会クラス

キュービーという会社のマヨネーズに行きましたので、お知らせします。マヨネーズは、マヨネーズについてのいろいろな知識を楽しく学ぶ見学施設です。

マヨネーズの歴史
マヨネーズは、1566年にイタリアのジェノヴァで発明されたと言われています。最初は、魚の卵黄と油を混ぜて作られていました。その後、小麦粉や砂糖が加えられ、現在のマヨネーズの形になりました。

マヨネーズの種類
マヨネーズには、いろいろな種類があります。例えば、白マヨネーズ、赤マヨネーズ、黒マヨネーズなどがあります。また、野菜や果物を加えたマヨネーズもあります。

マヨネーズの作り方
マヨネーズの作り方は、卵黄と油を混ぜ、少しずつ加えていきます。最初は、卵黄と油を混ぜ、少しずつ加えていきます。最初は、卵黄と油を混ぜ、少しずつ加えていきます。

マヨネーズについて楽しく学習!

地震体験レポート ～池袋防災館～

2022年3月5日
JCA水曜会クラス

池袋にある防災館に行ってきました。防災館では、地震や火事、人が倒れた時の対処法を学ぶことができます。今回は、地震の体験をしましたので、お知らせします。

地震体験
地震体験は、実際に地震の揺れを感じることができます。体験は、45秒ですが、とても長く感じました。

防災グッズ
防災グッズは、地震や火事などの災害時に役に立ちます。防災グッズは、地震や火事などの災害時に役に立ちます。

防災グッズのチェック
防災グッズのチェックは、地震や火事などの災害時に役に立ちます。防災グッズのチェックは、地震や火事などの災害時に役に立ちます。

池袋の防災館で地震を体験しました。

遠足レポート ～次大夫堀公園 & 田植え～

2022年6月5日
JCA水曜会クラス

次大夫堀公園に行ってきました。次大夫堀公園は、1678年に建てられた、江戸時代の名園です。今回は、次大夫堀公園で田植えをしました。

田植え
田植えは、お米を育てるための大切な作業です。今回は、お米を育てるための大切な作業です。

次大夫堀公園
次大夫堀公園は、1678年に建てられた、江戸時代の名園です。今回は、次大夫堀公園で田植えをしました。

次大夫堀公園では田植えにチャレンジ!

遠足レポート ～お茶の水おりがみ会館～

2022年10月18日(水)
10:00～12:00
天気 晴れ

お茶の水おりがみ会館では、お茶の水の歴史や文化を学ぶことができます。今回は、お茶の水のおりがみ会館で田植えをしました。

お茶の水おりがみ会館
お茶の水おりがみ会館は、お茶の水の歴史や文化を学ぶことができます。今回は、お茶の水のおりがみ会館で田植えをしました。

おりがみ会館
おりがみ会館は、お茶の水の歴史や文化を学ぶことができます。今回は、お茶の水のおりがみ会館で田植えをしました。

お茶の水
おりがみ会館では
多様な作品に
びっくり!

水曜クラスは会員が約20名、学習者さんも約20名登録しております。会員の活動経験は、一番長い方で約20年、また10年以上の方も数名いらっしゃいます。一番多いのは5年未満の方々と、仕事や家事に忙しい中時間を見つけて活動なさっています。

大半の会員さんは全くの素人からスタートしており、「これはどうやって教えるの?」「テキストは何がいいの?」「分からないから来週答えまして言っちゃった」という声も聞こえます。水曜クラスは最近屋外での活動に力を入れております。世田谷区内に限らず学習時間内に行ける所へ行って、普段会話のできない学習者さん、また会員さんの交流の時間を取っております。そんな時、普段では見せない学習者さん、会員さんの表情や笑い声が聴けて充実した時間となっております。

学習者の声



エンナ(タイ)
JCAでの日本語の勉強がおもしろくて、先生や友達と話すのが大好きです。
家族思いの頑張り屋さん、今漢字も一生懸命勉強しています。(長野一美)(毛塚梨花)



カシア(ポーランド)
日本語をビジネスレベルまで上達させたい。頑張ります。
明るく、元気で、前向きな姿勢に感心しています。(ノリコ)



ケンプ(アメリカ)
何となく、日本語を勉強したい。JCAで楽しいと思います。
好奇心旺盛なシアトルのソフトエンジニアと楽しんでます。(南 徹)



エマ(ニュージーランド)
レッスンは楽しいです。テーラーメイドなのでとても勉強しやすいです。
最近質問も増えてきて、意欲的に楽しく勉強しています。(上保真弓)



ヤスミン(イギリス)
毎週の授業のおかげで、日本の文化等を試して出来たのが嬉しい。
長いお付き合いになりました。進化を感じて嬉しいです。(國頭恵子)



テイ(中国)
日本語の勉強を通じて日本の文化を理解できる自分を発見し、毎日が楽しい。
2024年4月に大学院入学を目指す頑張り屋さんです。(前田紘利)



チョウ(中国)
毎週クラスで先生と日本語の会話をすることがとても楽しみです。
まじめで和み系の学習者さん、今後も一緒に頑張ろうね!(田中友子)



イ(中国)
いつも話を聞いて励ましてくれます。日本語を話す勇気を持てるようになりました。
好奇心旺盛で熱心なイさんに刺激を受けています。(平地 彩)



リ(中国)
皆親切なので、毎回楽しく参加しています。
映像関連の大学院を希望する学生を担当しています。(土田 豊)



チャン(中国)
いろんな生活の日本語教わりました。日本文化への理解の助けになっています。
毎週お話しするのが楽しい! 日本と香港との違いが面白いです。(吉澤真里奈)



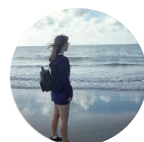
エミ(フランス)
リエさんの説明はとても面白いけど、漢字はむずかしい!
漢字にとっても興味があるエミさんとの学習楽しいです。(RIE)



リン(台湾)
教室ではよりカジュアルな日本語を勉強できて楽しいです。
とてもアクティブでいつも上手に楽しいお話をしてくれます。(西山依恵)



ピーター(アメリカ)
JCAは素敵です。
いつも前向きで積極的な姿勢に元気をもらっています。(澤地里由子)



ユエン(台湾)
この教室のみんな優しくて、挨拶しました。ここでもっと勉強したいです。
温厚でエピソードを沢山話してくれる明るい学習者さんです。(佐野真友)



Smile!

夏休みの小学生も一緒にボランティア!

Thursday Class
木曜日(昼)クラス

DATA
場所：北沢ボランティアビューロー
時間：毎週木曜日 15:00～16:30
会員数：15名
学習者：16名(8カ国)



日頃行っている学習者と私たちのレッスンに、小学生が加わる「ナツボラ・ジュニア」イベント。手作りのクロスワード・パズルを解きながら、楽しく日本語を学びました。

ナツボラ・ジュニア

会員の声
「ボランティア事始め」
菱沼将光

2年前の10月、何度目かの新型コロナウィルスの感染拡大が下方に向かう頃、ステイホームから抜け出そうと日本語教室のボランティアに応募した。教室を訪ね、私の面接後担当する学習者を紹介された。フランス人、タスニムさんという若い女性だった。互いに自己紹介をし合い、2週間後から教えることになった。日本語教育の経験もなく英語も話せない私は、心配しつつ初日を迎えた。彼女は小1から中1までの7年間日本で暮らした経験があることを先ず話してくれた。きれいな発音の日本語!私の心配は杞憂だった。「かなり日本語を忘れていた」のがここで日本語を学ぶ動機だった。年が明けて春めいてきた頃「東京の桜の開花は○月○日ごろ」と開花予報を彼女に告げたところ、：「私の誕生日」と。「えっ」なんと彼女と私の誕生日は同じだったのだ。この度の40周年誌の寄稿にあたって、「あなたのことを書いて良いか」と今年1月に帰国した彼女にラインで打診したところ、「私で良ければいいですよ」と見事な日本語が返ってきた。



「夜の観梅」



Thursday Class

木曜日(夜) クラス

DATA

場所：北沢ボランティアビューロー
時間：毎週木曜日 18:30～20:00
会員数：22名
学習者：21名（12カ国）



「秋の親睦パーティ」



「日本の文化：七夕、風呂敷の使い方」

こんなクラスです!

木曜夜クラスは、総勢約40名で多種多様なメンバーが在籍しています。コロナ禍もあり、メンバーはかなり新しくなりましたが、学習者は、国籍、人種、性別等に関わらず、日本語や日本の文化に馴染むよう一生懸命努力し、支援者は日本語の勉強を通してサポートしています。それぞれペアで勉強していますが、お互いを信頼しあって毎週クラスを楽しみにしているメンバーがたくさんいます。学習者から頑張って支援者になった人もいます。

学習者の声

「学習者から支援者になりました」

張凱亮
張凱亮

台湾から日本に来たカイです。今年はまだ五年目です。JCAにいる時間もほぼ同じです。当時運が良かったので直ぐJCAに入れました。毎週木曜夜は私が楽しみにしている時間です。JCAで先生たちとたくさん話ができ、日本の文化なども色々体験する事が、短時間に日本生活に馴染む大きな要因です。

それから多くの先生にお世話になって、あっという間に4年が経ちました。ある機会に先生に推薦されて心機一転、支援者として学習者のサポートが始まりました。それからの色々な事も全て貴重な体験です。私を励ましてくれた先生たちに本当に感謝します。

会員の声

「木曜夜クラスってどんなクラス」

藩守亜希子

かつての木曜夜クラスは皆で協力しながら和気あいあいと活動が続けてきたクラスでした。しかし、長期学習者の一斉卒業とコロナ禍が重なり、がらりとメンバーが入れ替わりました。また、コロナ禍で会員も学習者も時間になったら、ささっと帰るのみという状態が続きました。今、「木曜夜クラスってどんなクラス？」と聞かれても、すぐには答えられないかもしれません。皆さんの顔と名前も一致しない日々ですが、活動時に会員も学習者も名札を付けたり、終了後に梅を観に行ったり、これまでになかったアイデアで、新しいメンバーによる新たな木曜夜クラスは走り出しています。

1年後、クラスの誰かに聞いてみようと思います。
「木曜夜クラスってどんなクラス？」

Friday Class

金曜日(夜) クラス

DATA

場所：千歳台地区会館
時間：毎週金曜日 19:00～20:30
会員数：7名
学習者：6名（5カ国）



日本の夏の風物詩、花火を楽しみました。



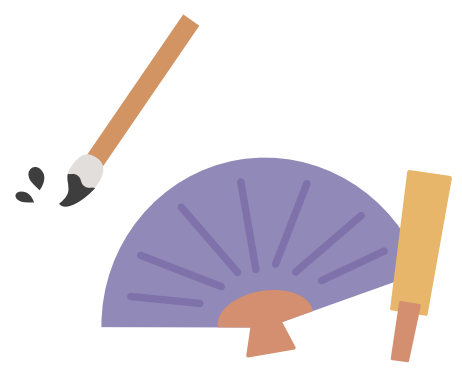
水書き習字を体験。皆さんお上手です!



日本の伝統的な遊び「投扇興(とうせんきょう)」に挑戦!

こんなクラスです!

金曜日夜クラスは、学習者さん6名、ボランティア7名の(2023年10月末日現在)のクラスです。毎週の日本語学習は、対面・オンラインそれぞれのペアで都合のいい形式を相談し実施しています。毎月月末の回には教室に集まり、皆さんでカードゲームをしたり季節の行事や日本文化が体験できる会も行っています。写真では、花火、投扇興、水書き習字を楽しんだ回をご紹介します。月末を楽しみにして下さる学習さんもいて、実施内容のアイデアは学習さん達から頂くこともしばしばです。毎月の活動を通して、参加者間の交流を深めています。



幅広い年代、多数の国からの学習者が楽しく学んでいます。

Friday Class

金曜日(昼) クラス

DATA

場所：砧図書館
時間：毎週金曜日 10:00～11:30
会員数：27名
学習者：26名（12カ国）

こんなクラスです!

金曜昼クラスは、50人以上のメンバーが参加する大所帯のクラスです。学習者も会員も、日本語学習を通じて楽しく交流を深めています。ある学習者は「テストのための勉強だけではなく日常会話を学べるのがよいです。ここは、私にとって特別で温かい場所です」と語ってくれました。



コミュニケーションを通じて日本語を学ぶイベントも開催。

会員の声

「私自身も 学び成長できる場所」

阿部加奈子

世の中がコロナ禍となった頃体調を崩し、塞ぎ込む日々を送っていました。体調が戻った後、辛かった経験を踏み台として何か出来ないかと世田谷区のHPを覗いたところ、JCAが目にとまりました。日本語サポートの経験もなく不安だったのですが、活動されている皆様の受け入れの温かさ、更に活気や熱意が励みとなり入会させていただきました。エミリーさんというフランス人女性を担当することになり、初めは緊張が震えましたが、彼女はとても親しみやすく、私の緊張を溶かしてくださいました。あるレッスン日、エミリーさんに急なお仕事が入り「今日は中止にしますか?」と聞きましたところ、「阿部さんと少しでもお話してからの方が、仕事先で日本語が話しやすいのでお願いします!」と言ってくださり、ものすごく嬉しく思いました。まだまだ未熟ではありますが、私自身が学び成長させてもらえるこの場所に心から感謝しております。

DATA 3 JCA千歳船橋グループの教室一覧

クラス名	場所	時間
月 曜日クラス	北沢ボランティアビューロー 住_世田谷区梅丘1-8-9 (最寄駅: 梅ヶ丘)	10:00～11:30
火 曜日クラス	世田谷ボランティアセンター 住_世田谷区下馬2-20-14 (最寄駅: 三軒茶屋)	10:00～11:30
水 曜日クラス	世田谷ボランティアセンター 住_世田谷区下馬2-20-14 (最寄駅: 三軒茶屋)	10:00～11:30
木 曜日 昼 クラス	北沢ボランティアビューロー 住_世田谷区梅丘1-8-9 (最寄駅: 梅ヶ丘)	15:00～16:30
木 曜日 夜 クラス	北沢ボランティアビューロー 住_世田谷区梅丘1-8-9 (最寄駅: 梅ヶ丘)	18:30～20:00
金 曜日 昼 クラス	砧図書館 住_世田谷区祖師谷3-10-4 (最寄駅: 祖師ヶ谷大蔵)	10:00～11:30
金 曜日 夜 クラス	千歳台地区会館 住_世田谷区千歳台3-31-9 (最寄駅: 千歳船橋)	19:00～20:30

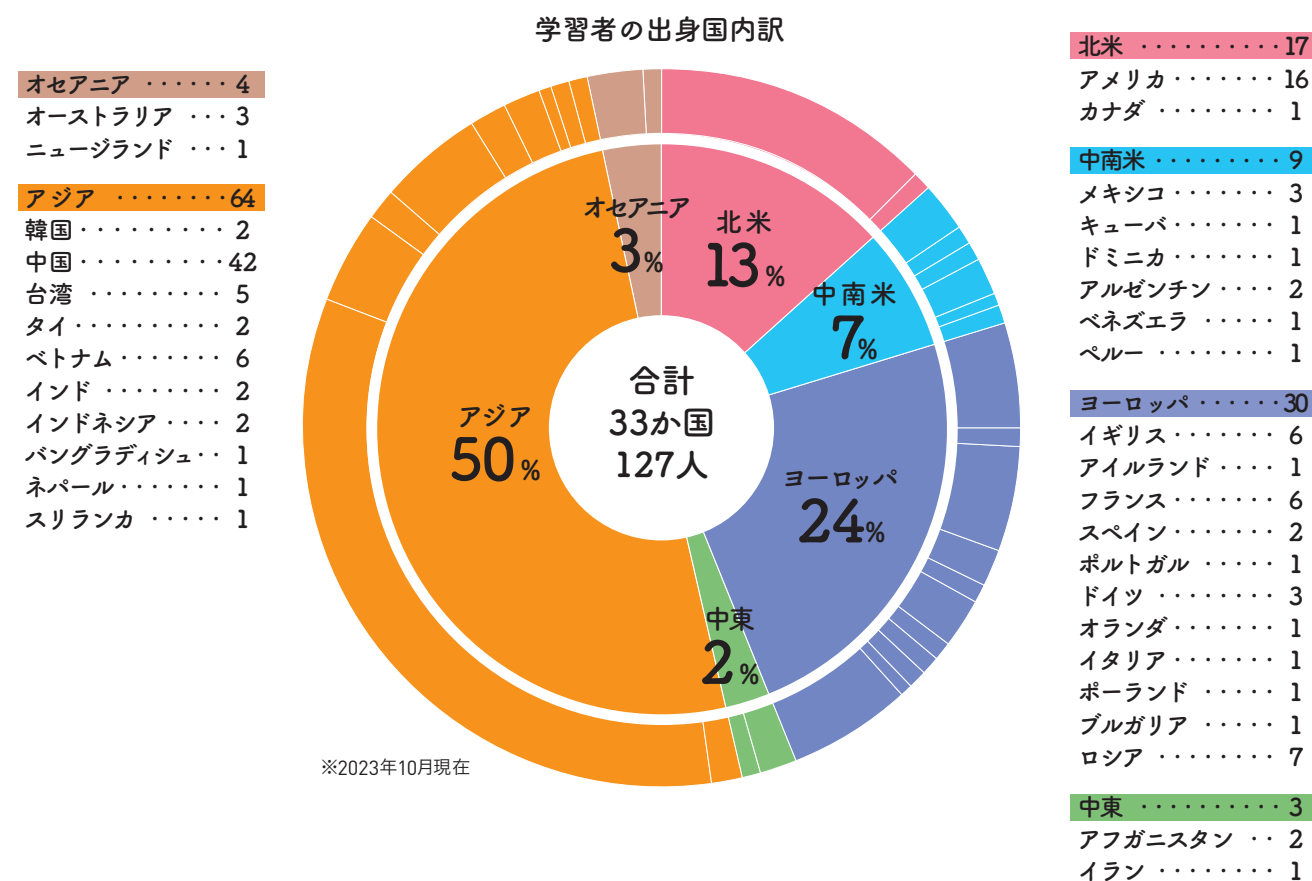
DATA 4 JCA千歳船橋 外部関連団体

Special Thanks!

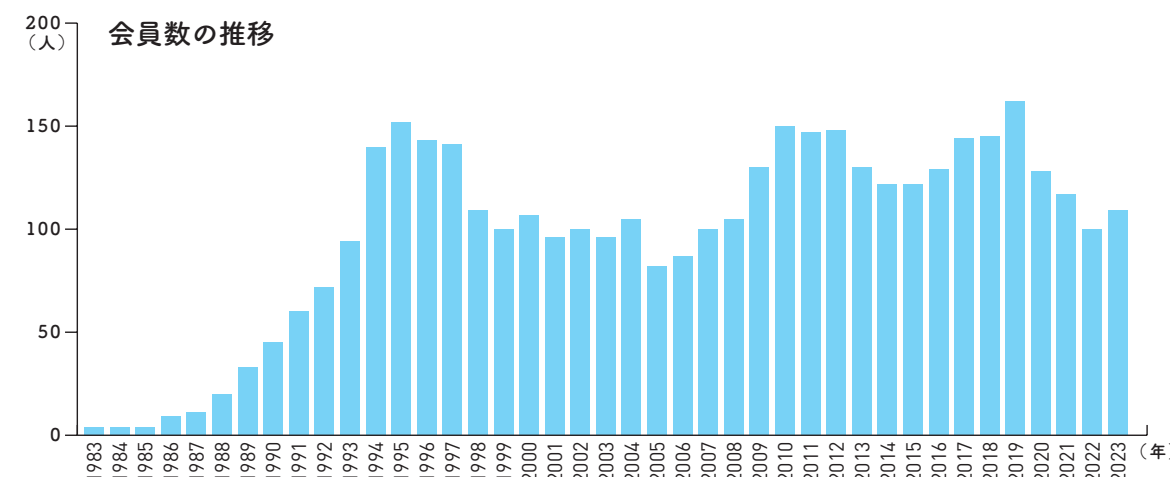


- JCA 玉川
- 世田谷区役所
- ・文化・国際課
- ・地域振興課
- ・地域行政課 けやきネット
- 世田谷区立 砧図書館
- 千歳台地区会館
- 世田谷ボランティア協会
- ・世田谷ボランティアセンター
- ・北沢ボランティアビューロー
- ・砧ボランティアビューロー準備室
- せたがや国際交流センター
- 東京日本語ボランティアネットワーク (TNVN)
- 東京都都民生活部地域活動推進課
- 東京都つながり創生財団 多文化共生課
- 世田谷区立男女共同参画センター らぶらす

DATA 1 世界33か国の学習者がJCAで日本語を学んでいます



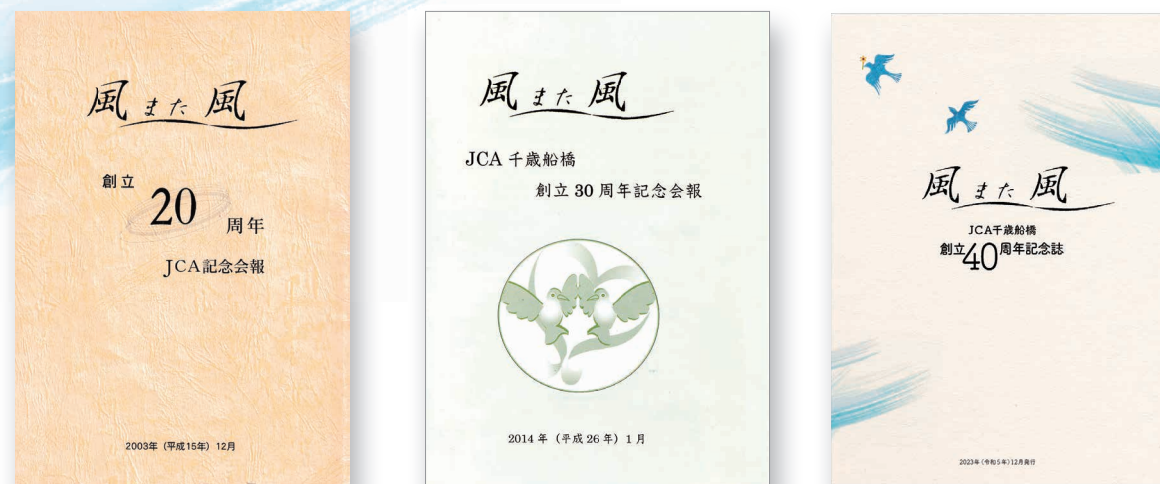
DATA 2 会員数はコロナ禍で減少傾向に



世界の言葉で「こんにちは」

Hello from the world

40年間で3誌を発行



編集後記

JCA千歳船橋に入会して数年。たまたまの巡り合わせにより40周年誌作成に携わる事になりました。どのような周年誌にするのか。各クラスから議論百出し、やっとの思いで構想が纏まったものと記憶しています。10年間といえ、その「歩み」を正確に記すのは簡単な作業ではありませんでした。そしてクラスの思いが詰まったページづくり等々…。諸先輩方のお力添え並びに作成に携わって頂いた皆様のご協力の賜と感謝しております。40周年誌はホームページに掲載することで多くの人の目に触れる機会が増え、今後、入会を希望される会員や学習者にとっても参考になる一冊となるものと期待しています。

編集委員 渡辺洋一

入会した月に「おしゃべり広場」が開催され、スピーチをする学習者さんとそれを支える会員の皆さんの熱意に圧倒されました。ボランティア=堅苦しいイメージを持っていた自分が、改めてJCAの一員になりたいと感じたことを覚えています。今回、編集者の自分が40周年誌を作るにあたり願ったのは、そんなJCAの魅力を多くの人に伝えたい—各クラスの様子を知り、繋がりを感じてほしいということ。そのため、ひとりでも多くの意見を聞き、誰もが読みたくなるような明るく前向きな誌面づくりを目指しました。ご協力いただいた結果、クラスごとのアイデアが生きた楽しいページが満載！笑顔あふれる1冊となりました。各委員の皆様をはじめ、会員、学習者の皆様に心より感謝いたします。

編集委員 中谷広美





JCA千歳船橋

<https://jca-chitosefunabashi.jimdo.com/>

